

2014年4月18日(金)

## 京都精華大学卒業生・稲葉卓也さん（アニメーション監督）の 文化庁メディア芸術祭受賞作「ゴールデンタイム」が、 立誠シネマにて上映されます。

来る4月26日(土)～5月23日(金)、京都精華大学美術学部(現・デザイン学部)ビジュアルコミュニケーションデザイン専門分野の卒業生で、アニメーション監督の稲葉卓也さんの最新作品「ゴールデンタイム」が立誠シネマにて上映されます。

稲葉さんはCM、映画などのさまざまな映像制作で世界的に高い評価を受けているプロダクション「ROBOT」に所属。最新作「ゴールデンタイム」では監督、脚本、キャラクターデザイン、アニメーションのすべてを担当し、第17回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門にて「優秀賞」を受賞しました。

今回の上映イベント「手仕事のアニメーション」では、稲葉さんの「ゴールデンタイム」をはじめ、白組制作のコマ撮リアニメーション「タップ君」、ROBOT制作の第81回アカデミー賞短編アニメーション受賞作「つみきのいえ」が上映されます。また、4月26日には、稲葉さんの舞台挨拶を予定しています。ぜひともご紹介、ご取材ください。

### 「手仕事のアニメーション」

CM、映画、テレビ番組など、数々の映像作品を作り続けているプロダクション ROBOT と白組が心を込めて贈る最新作の短編アニメーション2作品+日本初米国アカデミー短編アニメーション受賞「つみきのいえ」を上映!

上映期間：2014年4月26日(土)～5月23日(金)

※4月26日(土)～5月2日(金) 13:00/19:00、5月3日以降は後日Webサイトで発表

会場：立誠シネマ(京都市中京区備前島町310-2(木屋町蛸薬師下ル)元・立誠小学校 南校舎3階)  
<http://risseicinema.com/>

料金：一般1,200円

学生・シニア・障害者手帳をお持ちの方・シアター会員1,000円

中学生以下600円 ※未就学児童は無料

入場各回定員入替制/自由席

### 《稲葉卓也監督トークショー》

4/26(土)13:00の回上映後、開催!

トークショーはこの回の上映をご覧の方のみ参加いただけます。

当日、当日券・前売券ともに受付先着順で整理番号を発行します(定員に達し次第終了)。

### 《「稲葉卓也個展 ボクの錬金時間(ゴールデンタイム)」も同時開催》

上映期間中、絵本『ゴールデンタイム』出版を記念して「稲葉卓也個展 ボクの錬金時間(ゴールデンタイム)」を同時開催します。絵本の原画と描き下ろしイラストレーションを公開。入場無料。

《本リリースへのお問い合わせ先》 ※取材をご希望の際は広報課までご連絡ください

京都精華大学 広報課 〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

TEL: 075-702-5197 FAX: 075-702-5352 E-mail: kouhou@kyoto-seika.ac.jp

上映作品：

## 「ゴールデンタイム」

テレビが辿った数奇な運命を描いた悲喜劇―。

### <STORY>

舞台は高度成長期からバブル期に向かって日本がめまぐるしい発展を遂げていた1980年代の日本。ある日、長年使われてきた60年代製の家具調テレビが廃品置き場に捨てられてしまう。テレビは捨てられた事を受け入れられず廃品置き場から脱出を試みるのだが…。

### <プロダクションノート>

第81回アカデミー賞短編アニメーション賞受賞作「つみきのいえ」に続くオリジナルアニメーション「ゴールデンタイム」は、「ALWAYS 三丁目の夕日」など数々のヒット映画を手がけている映像プロダクションROBOTが新たに手がけた最新作。監督、脚本、キャラクターデザイン、アニメーション等のすべてを担当したのは、同社所属のアニメーション作家稲葉卓也。本当にあったかもしれない廃品たちの物語を独特のセンスでユーモアたっぷりに描き、どこか懐かしくも切ないエンターテインメントムービーに完成させた。本作はソウル国際カートゥーン&アニメーション映画祭「観客賞」「アジアの光賞」の2冠受賞を皮切りに数々の国際映画祭にも多数ノミネートされ海外でも高い評価を受けている。同原作で絵本も出版。(2013年/22分50秒/カラー)



監督/脚本/アニメーション/キャラクターデザイン：稲葉卓也

音楽：烏田晴奈 サウンドデザイン：ONPA 小林範雄 徳永義明 成田明夫

プロデューサー：松本絵美 製作：ROBOT 助成：文化芸術振興費補助金

### <受賞歴>

- ・文化庁メディア芸術祭 アニメーション部門「優秀賞」受賞
- ・ソウル国際マンガ・アニメーション映画祭「アジアの光賞」「観客賞」W受賞
- ・コルドバ国際アニメーション映画祭ノミネート
- ・シカゴ国際こども映像祭ノミネート
- ・クリック!アムステルダムアニメーション映画祭ノミネート
- ・北アイルランド フォイル映画祭ノミネート

## 「タップ君」

何も話さず、あなたの人生に寄り添う靴の物語―

### <STORY>

第二次世界大戦前後のヨーロッパのある街。靴職人のスミスの店にはいつもボロボロになった様々な靴が持ち込まれる。ある日一人のタップダンサーが靴の修理の依頼にやってくる。人間の生活を支えるために働いて来た靴たちが集うとき、それぞれに秘めていた物語を語り始める…。

### <プロダクションノート>

「STAND BY ME ドラえもん」「もののけ島のナギ」など数々の映画をロボットと共に制作している白組は、常に高いクオリティのCGやVFX技術に挑戦し続けている映像制作プロダクション。そんな白組が正統派のコマ撮りアニメーション「タップ君」を制作。マットペインティング、3DCGエフェクトなど映像の随所に最新のデジタル技術が隠されており、まさに白組オリジナルの“ハイブリットアニメーション”がここに誕生した。また、監督のアンマサコが人形から小道具に至る美術の大半までを一人で制作したという細部まで細やかに表現された世界観も見所の一つとなっており、立体造形で描かれた絵本もすでに作られている。(「タップのゆめ」講談社刊)

(2013年/23分/カラー)



監督・人形制作・美術デザイン：アンマサコ

コマ撮りアニメーター：岡田シゲル 美術・金属球体間接制作：月岡英生 音楽：ジム・オルーク

サウンドデザイン：石垣哲 企画・脚本・プロデューサー：島村達雄 製作：白組立誠シネマ

# 「つみきのいえ」

## <STORY>

水没した土地で暮らす老人は、水かさが増すたびに家を高く積み上げながら一人で住んでいた。そんなある日のこと、大事な落とし物を探しに海に落ちることに…

日本初のアカデミー賞短編アニメーション賞に輝いた本作は、その後絵本も出版されており、現在 5 カ国語で翻訳出版されている。

(2008 年／12 分／カラー)



監督・アニメーション：加藤久仁生

脚本：平田研也 音楽：近藤研二 SE:ONPa

プロデューサー：日下部雅謹 秦祐子 制作：ROBOT

## 監督プロフィール

### 稲葉卓也

1976 年生まれ。京都精華大学卒業後、2002 年より株式会社ロボットに所属。NHK BS のキャラクター「ななみちゃん」のキャラクターデザイン及びアニメーションをはじめとして独自のキャラクターセンスには定評があり、テレビ番組、CM、プロモーションビデオ、絵本など、大人から子供まで楽しめるエンターテインメント作品を多く手がけている。2010 年オリジナルアニメーション「KURO」を発表。

### アンマサコ

1975 年岐阜県生まれ。2000 年多摩美術大学絵画科油絵専攻卒業後、株式会社白組入社。立体造形（ミニチュアセット、人形制作）、ドローイング・イラストレーションなどで映像制作にたずさわる。2010 年創作絵本「タップのゆめ」が講談社から出版。立体アニメーション短編映画「タップ君」は初監督作品。

### 加藤久仁生

1977 年生まれ。多摩美術大学在学中からアニメーションの自主制作をはじめ。同大学卒業後、2001 年に株式会社ロボットに入社。2009 年「つみきのいえ」が世界最高峰のアヌシー国際アニメーション映画祭で最高賞グランプリ、第 81 回米国アカデミー賞で短編アニメーション賞を受賞した。